

令和4年度

第4回 埼玉県県央地域医療構想調整会議

議事概要

開催日時：令和5年3月17日（金）

19：00～19：47

開催形式：WEB開催

1 開会

鴻巣保健所高林副所長が進行。

2 挨拶

遠藤鴻巣保健所長が挨拶。

3 議事

仁科会長が議長となり議事を進める。

- (1) 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて概要について、保健医療政策課が説明した。

【非稼働病棟を有する医療機関実態調査質疑応答等】

(佐藤委員) この3A病棟というのは小児科の病棟である。小児科医はかなり人員が限られている。大学の医局からの派遣を中心に行っているが、なかなかその人材確保ができていないため未定と記載している。ただし、大学病院の方でも少しずつ入局者が出てきている。そういう方々が、育ってくれば何とかということで、継続して派遣を依頼している。実際に、日曜日の小児輪番を行うとその患者数が我々の救急部門で一番多い。かなりニーズがあるが、それも県立小児医療センター等からの支援をいただいでやっとなできているというような状況である。今後も継続して強く大学に人員の派遣を要望していきたい。

(保健医療政策課) 説明いただきありがとうございます。ドクター不足については、この圏域にかかわらず全県で深刻な問題となっている。県でも医療人材課の方で医師の育成、県内に定着するような形で様々な施策を行っているという。今後もひとつよろしく願いいたします。

(会長) ヘリオス会病院の森田委員、補足があればお願いいたします。

(森田委員) 特にないが、非稼働の病棟が数年間続いている。今後の再開の目途が立たなかったら返還するつもりでいる。

(保健医療政策課) 先生、御発言ありがとうございます。この調査は、非稼働病棟を取り上げようというのが目標ではない。何とか可能な限り再稼働の道を検討していただきたいので、よろしく願いいたします。

(2) 埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備計画について
概要について、医療整備課が説明した。

(3) 令和3年度病床機能報告について
概要について、保健医療政策課が説明した。

(4) 外来機能報告及び紹介受診重点医療機関について
概要について、保健医療政策課が説明した。

(5) その他

医療整備課から、1月16日に協議した地域医療連携推進法人の認定について、2月10日の埼玉県医療審議会法人部会において適当と答申されたため、3月1日付けで認定をした旨報告があった。

また、今後も法人から調整会議へ活動状況等について定期的に報告する旨確認し、あわせて地域医療連携推進法人あげおメディカルアライアンスの代表理事である徳永委員より今後について簡単な説明があった。

(以 上)